

令和7年度青森県立保健大学同窓会総会 議事録

日 時 令和7年10月11日(土) 9:30~11:05

場 所 C棟1階 認定演習室

出席者 会長 伊藤耕嗣

副会長 葛西孝幸

総務担当理事 金澤公太郎、石沢栗

監事 村上真須美、羽場俊広

社会福祉学科担当教員 小山陽香

栄養学科担当教員 葛西志保、羽深美智子

大学院担当教員 橋本淳一

顧問 キャリア開発・研究推進課長 谷地博和

大学事務局キャリア開発・研究推進課 高谷憲

同窓会事務局員 小堤静恵

出席者合計 13名

1 報告事項

(1) 各部会事業報告、事務局報告(資料 01)

各部会及び事務局から資料 01 により、令和6年10月1日から令和7年9月30日までに行った事業について報告があった。

(2) ホームカミングデー2025について(資料 02)

小堤事務局員から資料 02 により、今回のホームカミングデーは各学科の研修会を主軸とし、社会福祉学科卒業生等3組を招いて飲食販売とオンラインクーポン抽選会を連動させる企画内容であることと、その予算について報告があった。

(3) 事務局員の賃金について(資料 03)

谷地顧問から資料 03 により、事務局員の時給について、今般の青森県最低賃金引上げ額76円を加算した1,076円とし、11月1日から施行することで、理事会の承認が得られたと報告があった。

2 協議事項

(1) 令和6年度(年度区分変更後)決算について(資料 04)

各部会の会計担当者及び事務局から資料 04 により説明があった。村上監事からは、9月12日・22日に監査した結果、適正に経理されていた旨報告があった。このことについて審議した結果、異議なく原案どおり承認された。

(2) 令和7年度事業計画・予算案について(資料 05)

各部会及び事務局から資料 05 により、新年度事業計画及び予算案について説明があり、異議なく原案どおり承認された。

大学院担当村上教授から、大学院を取り巻く状況として、入学生が増加しているものの、財政状況については依然厳しいという意見があった。このことから、各部会からそれぞれに入学式と卒業式に贈呈しているスタンド花について、発注を事務局に集約するとともに、個数を減らすことで予算削減出来ないものか提案があった。協議の結果、発注については事務局が担当し、各部会から贈呈されたことが分かるような形をとることとなった。経費については、今年度は各部会から徴収することとした。

(3) 同窓会財政について (資料 06)

小堤事務局員から資料 06 により、同窓会財政について、昨年度見直しを行った事業、現状、今後の課題の説明があった。繰越金のあり方、会費収入のみで活動することが望ましいものの現状は厳しいこと、会費収入が入る時期と同窓会の会計年度は半年のずれがあること等、様々な意見交換がなされた。これに付随する問題として、総会の開催時期についても意見交換がなされた。

協議の結果、総会時期については変更しないこととした。また、4月に徴収する会費収入を10月までプールし、繰越金が生じた場合には合わせて配分することについて、実現可能性を事務局で精査することとした。会費収入内での活動に不足分が生じる際には、これまでどおり繰越金や積立金の活用についても視野に入れて検討することとした。

3 その他

- ・栄養学科同窓会から、インターネットバンキングの導入について検討をしているという報告があった。意見交換がなされたが、費用対効果やセキュリティ面について精査することから、引き続き栄養学科同窓会で情報収集し、事務局に情報を集約することとした。
- ・伊藤会長から、次年度が役員改選時期であることと、施行細則第4条の2により次期会長は理学療法学科から選出となることの案内があった。

4 谷地顧問から

伊藤会長をはじめとする同窓会関係者の皆様のおかげで、事務作業を円滑に進めることができた。財政については今後も精査や議論の必要はあるものの、本日の議論を生かし、引き続き皆様のお知恵をお借りしながら進めていきたい。

議事録作成日

令和7年 11月 20日

議事録署名者

議長

伊藤 利嗣

理事

葛西 孝幸